

## 出牛正芳理事長に名誉教授の称号記授与



8月末で学長の任期満了を迎え、教授職を定年退職となった出牛正芳学校法人専修大学理事長への名誉教授称号記授与式が11月17日、神田キャンパスで行われた(=写真、左が出牛名誉教授)。

日高義博学長から称号記を授与された出牛名誉教授は「11月に本を出版し=3面参照、現在も原稿執筆の依頼が多数あります。今後も研究に精進するつもりです」とあいさつ。出席の学部長、研究科長、大学役員らから大きな拍手が送られた。

式後、今村力三郎記念ホールに会場を移し、当日が誕生日であった出牛名誉教授の功績を語り合い、和やかに懇談した。

(略歴等は10月号既報)

---

## 最終講義のご案内

来年3月をもって定年でキャンパスを去る先生方の最終講義が左記の通り行われます。卒業生もどうぞご参加ください。

### 【生田キャンパス】

▼蔵下勝行ネットワーク情報学部教授「経済のモデル(マクロ経済学)」12月22日(水)5時限・813号教室

▼毛利健三経済学部教授「世界経済史—ヨーロッパ近代への視角—」1月12日(水)3時限・713号教室

▼川口順一商学部教授「私の会計人生と会計思想」1月12日(水)3時限・711号教室

▼中山雅博経営学部教授「原価計算論と私」1月12日(水)4時限・525号教室

### 【神田キャンパス】

▼中田保法法学部教授「オンリー・コネクトOnly connect…」1月12日(水)5時限・207号教室

▼隅野隆徳法学部教授「人類的観点における基本的人権のあり方(仮題)」1月14日(金)3時限・301号教室

---

## 「フランス革命とヨーロッパ・アジアの近代化」

研究者3氏が講演 — オープンリサーチセンター(ORC)整備事業プロジェクトで公開講座



「フランス革命とヨーロッパ・アジアの近代化」(大学院社会知性開発研究センター／歴史学研究センター主催)11月13日、生田キャンパスで開催された。03年度採択のORC整備事業「フランス革命と日本・アジアの近代化」の04年度公開講座で、昨年に続き2回目。

西川正雄氏(センター客員教員、元専修大学文学部教授)が「フランス革命と『国民国家』」、鈴木董氏(東京大学東洋文化研究所教授)が「フランス革命とオスマン帝国」、岩下哲典氏(明海大学経済学部助教授)が「ナポレオン情報と幕末の志士たち」と題して講演。フランス革命の近代的意義、同革命が各方面にもたらした影響などについて歴史学研究の第一線に立つ研究者3氏の講演に220人の聴衆が聞き入った。当日は専修大学図書館、歴史学研究センター所蔵のフランス革命の関連資料や教科書の展示も行われた。

---

## 「アジアの経済発展と中小企業」

シンポで活発に討論 — オープンリサーチセンター(ORC)整備事業プロジェクトで公開講座



公開シンポジウム「アジアに製造中小企業の『ジャパンモデル』が根付くか～アジアの経済発展と中小企業」(大学院社会知性開発研究センター／中小企業研究センター、商学部40周年記念事業実行委員会共催＝04年度採択ORC整備事業)が11月20日生田キャンパスで開催され、約50人が聴講した。パネリストは増田辰弘産能大学経営学部教授、山川恵則井上グループ製造会社統括、黒瀬直宏専修大学商学部教授、張浩川専修大学大学院任期制助手の4人。コーディネーターは溝田誠吾経営学部教授が務めた。

アジア諸国の台頭で日本の中小製造業の低迷が顕著になって久しいが、本シンポでは中国、台湾、タイなど発展著しいアジア諸国におけるビジネス報告と「たくましく生き残った元気のある」国内中小企業の実践例が紹介され、高い技術力をもつ「ジャパンモデル」が他の諸国にも根付くのか、さらには日本の中小企業の生き残る道を探った。

---

## 05年度法科大学院入試(第I期)結果

未修者(3年制)には、248人の出願があった。第1次選抜合格者は43人、第2次選抜(最終)合格者は19人。

また、既修者(2年制)には265人の出願があり、60人が第1次選抜に合格し、第2次選抜(最終)には33人が合格した。

第Ⅱ期の募集期間は05年1月11日から18日(当日消印有効)まで。12月22日(水)18時から神田キャンパスで説明会及び個別相談会を実施。

問合せ先は、ホームページまたは法科大学院事務課電話03・3265・6891。

---

## 受験対策講座、プレ入試

入学センターでは新たな試みとして『受験対策講座』、『大学対策模試&解説授業』(プレ入試)を実施した。

『受験対策講座』は「大学で学ぶこと」をテーマとした教員の講演の後、予備校の講師による英語問題分析の解説があり、個別相談も行われた。全国10会場に422人の参加があった。『プレ入試』は、大学受験の実力試しと予備校の講師による出題傾向を分析した解説授業を提供することを目的としたもの。11月21日に神田キャンパスで行われ、1146人が参加した。

---

## 在学生・受験生の皆様へ

「新潟県中越地震」の被災地区の皆様には、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を願っております。

本学では、被災地区(罹災・被災証明書が発行される地区)に保護者がお住まいの在学生および平成十七年度入学試験受験生には、左記の通り特別措置を行います。

- 1 全学部入学試験の入学検定料を免除します。
- 2 大学院・法科大学院Ⅱ期入学試験の入学検定料を免除します。
- 3 入学試験の前日と当日について、本学生田校舎至近距離にある「専修大学生田研修館」を無料開放します。
- 4 平成十七年度入学者に災害見舞奨学金(限度額五十万円)等を支給します。
- 5 在学生に対しては災害見舞奨学金(限度額五十万円)・特別見舞奨学金(二十万円)を支給します。

詳細については、各大学窓口にお問い合わせください。

専修大学  
石巻専修大学  
専修大学北海道短期大学

【ニュース専修2004年12月号2面】

## 司法試験、公認会計士第2次試験合格者祝賀会

04年度の司法試験、公認会計士第2次試験の合格者祝賀会が12月7日、神田キャンパスで開催された。

本学の両試験合格者は16人で、出牛正芳理事長、日高義博学長はじめ関係者多数が祝福した＝写真。最後に12年ぶりに司法試験の現役合格を果たした鈴木康祐くん(法4)が喜びのあいさつをした。

今年の司法試験合格者は過去最多の1483人で合格率は3.42%。現役大学生は241人で全体の16.3%だった。

公認会計士第2次試験は、合格者1378人でこちらも過去最高。合格率は8.4%で現役大学生は236人(全体の17.1%)だった。



---

## 司法試験・公認会計士第2次試験合格者

司法試験8人(現役1人含む)公認会計士第2次試験8人

今年度の司法試験最終合格者と公認会計士第2次試験の合格者は下の通り。このうち3人に話を聞いた。

司法試験 8人

吉川拓威さん 伊志嶺公一さん 早川孝志さん 堀一策さん

松浪恵さん 安達慎司さん 内田和利さん 鈴木康祐くん

公認会計士第2次試験 8人

甲斐賢一さん 玉井憲治さん 中村仁さん 中村謙志さん

永井重徳さん 千葉将人さん 大向敏夫さん 新里宜史さん

## 司法試験合格 内田 和利さん

中学生の時、弱者の立場に立つ人権派の弁護士になりたいと決意、司法試験を目指しました。きっかけは「松本サリン事件」で、被害者でありながら警察とメディアによって容疑者扱いにされた河野義行さんの事件にショックを受けたことからです。

卒業1年目で合格出来たのは家族、友人、ゼミの仲間、先生方など周りの多くの人々に支えられてきたおかげです。特に受験情報を交換できる仲間がいたことは、大きな心の支えとなりました。加えてエクステンションセンターのバックアップ体制など、専修大学ならではの勉強意欲が出る制度も大いに励みでした。受験勉強では、基本の反復継続と共に緊張感を持った勉強を心がけました。メリハリも大事で、余暇には好きな和太鼓に汗を流しました。

---

## 世界で活躍する弁護士を目指す

### 司法試験合格 鈴木 康祐くん

高3の受験勉強時に自らの挑戦として、一番難しい国家試験突破を決意しました。現役での合格は、専大での素晴らしい出会いがあったからこそと思っています。まず「法」に関する学問の面白さを教えて下さったゼミ指導の佐々木和夫先生、共に司法試験突破を目指しいつも温かく激励して下さい下さったゼミの先輩の内田和利さん、エクステンションセンターの対策講座で指導していただいた相村寛道先生……。専大に入学したからこそ出会えた皆さん方のおかげで、受験勉強は「面白かった」というのが本当の気持ち。目標は大きく、国際的に活躍する弁護士を目指します。

---

## ポイント見極め効率的な学習を

### 公認会計士第2次試験合格 新里 宜史さん

両親から「会計の知識はどの企業でも必要」とアドバイスされ、会計学科に進学。2年次でエクステンションセンターの「会計士講座」が始まり、将来の目標に決めました。

幅広い試験範囲なのでポイントを見極め効率的な学習をした点が功を奏したと思います。苦手な暗記科目は通学時間を利用して克服し、時には高校時代のバスケット部の友人と汗を流すなどして気分転換を図り、長丁場を乗り切りました。「今回は最後のつもりで頑張れ」と両親から励まされ、約束を果たせました。信頼される会計士となるため、より高度な知識を身につけ経験を積んでコンサルティング業務に携われるようになりたいです。共に励まし合った友人も合格。身近に同じ目標をもった仲間がいるのは心強かったです。

【ニュース専修2004年12月号1-2面】